

(様式4)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	3 2	学校名	宇都宮市立瑞穂野北小学校
-----	---------------	------	-----	-----	--------------

令和7年度 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食育・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・肥満傾向児童は全体の14.2%で、前年度の15.4%と比べ減少傾向にあるが、市平均10.0%を上回っている。
- ・視力B以下の児童は27.6%で、前年度の29.4%と比べ減少傾向にあり、市平均34.0%を下回っている。
- ・う歯未処置児童は11.2%で、前年度の11.0%と比べ若干の増加傾向にあるが、市平均16.7%を下回っている。
- ・元気っ子体力チェックの結果、学年によってばらつきはあるものの、男子はソフトボール投げは全体として優れている学年が多い。一方、立ち幅跳び、上体起こし、20mシャトルランについては全体として劣っている。女子は学年によって散らばりはあるものの、ソフトボール投げや反復横跳びは県平均より優れている学年が多い。一方、特に上体起こしや立ち幅跳びは全体として劣っている。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・「運動やスポーツをすることは好き」と回答している児童の割合は77.1%で、市の平均よりを上回っている。しかし、「健康や体力に自信がある」と回答している児童の割合は42.8%で、市の平均を上回っているものの、健康や体力に自信がないと感じている児童は多い。
- ・「健康のためにたばこを吸うべきではない」などの健康行動に関する質問については、全学年肯定的回答が90%以上である。「健康診断で指摘されたところを早めに治療している」と答えた児童は5・6年ともに市の平均を下回る。ゲームについて、長い時間している児童の割合が高い。
- ・「毎日朝食を食べている」と回答した児童の割合は、1～3年生では90%以上であったが、1・2年生では市の平均を下回った。5・6年生では86%以上で市の平均を上回った。4年生では82.1%と最も低く、市の平均を若干下回った。また、「好き嫌いをしないで食べている（嫌いな物でも一口は食べている）」については、3・5・6年生で市の平均を大幅に上回っていたが、1・2・4年生では市の平均を下回った。高学年では肯定的回答率が低い傾向にある。
- ・「交通ルールを守っている」「不審者から自分の安全を守るための行動を心掛けている」「自分や身の回りの人々の安全に気を配っている」の肯定的回答率は、ほとんどの学年で90%を超えている。肯定割合が低い学年でも90%程度であり、授業等での具体的な指導を通して、児童の安全への意識が高まった結果ではないかと思われる。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

- ・休み時間には、広い校庭を利用して、伸び伸びと遊んでいる。また、運動会や長縄記録会等の行事、水泳検定や縄跳び検定等に向けて、それぞれが目標をもって取り組んでいる。しかし、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、体を動かす機会の有無や運動への親しみには個人差が大きい。児童の体力向上のためには、各学年の教科体育において、系統立てた目標や内容の下、授業形態や方法を工夫し、楽しく運動できる体育授業づくりを目指すとともに、外遊びを推奨したり、遊びを紹介したりすることが必要である。
- ・掲示物や日々の声掛けを工夫し、児童が自己の身体や健康、生活を見直せるよう努めたことで、児童の健康に関する理解や関心が高まった。今後も継続して、自己の生活を見直し、改善を図ることができる力を育成していきたい。
- ・学校園統一の「お弁当の日」では、事前に各学年のねらいに応じた指導を行い、食に対する意識付けを図った。また、給食委員会が中心となって給食献立に関するアンケートをとったり、選択給食を提案したり、「おはなし給食」などに取り組んだりして、食への関心を高める工夫を行った。さらに、栄養職員と担任による食事のマナー指導を適宜行うことができた。ランチルームでの全員会食や縦割り班給食なども再開し、食することの楽しさを味わいながら、今後も継続して、「食べる」ことの理解と感謝の気持ちをもつことについて指導していきたい。
- ・全校体制で、授業における指導や避難訓練の方法、学校環境を工夫しているため、児童自身が判断して自分の身を守る行動を取れるようになってきた。今後も正しい知識を身に付けながら、危機の予測を基に適切に判断し、危険を回避する行動を取ることができるように指導する。

2 今年度の重点目標

自ら考え行動し、心身ともに健康で安全な生活を送ることができる児童の育成

- ・ 運動に親しみ、自己の運動能力の向上を目指そうとする意欲を育てる。
- ・ 自分の成長や健康に関心を持ち、生活習慣や食習慣の改善を図ろうとする態度を育てる。
- ・ 自分たちを取り巻く様々な危険に対する理解を深め、危険を予測・回避する能力を育てる。

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和7年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

（1）「運動」に関する取組

- ★ めあての掲示による目的をもった授業への取組
 - ・ 主運動に関連した準備運動の実施
- ★□個に合わせて課題を選択できる場の設定、ICT機器の活用、主体的・対話的な活動の実施
- ★□各学年の実態（体力チェックの結果等）に応じた補強運動の実施
- ★□体育的行事、各種検定による、目標をもった自主的な運動参加機会の設定
- ★□縦割り班遊びやクラス遊びの充実、休み時間の活用などによる運動機会の創出、外遊びの推奨

（2）「保健」に関する取組

- ★ 定期健康診断結果の迅速な保護者への通知
- ★ 心身の健康に関する指導の充実
- ★ 保健領域の学習における養護教諭とのT・T授業の実施
- ★ 生活習慣を見直す機会の設定（デジタル活用の健康への影響も含む）
- ★ 保健だよりや掲示物による正しい情報の提供
 - ・ 学校保健委員会の実施
 - ・ 「歯の健康教室」「学校保健委員会」についての保護者との情報共有

（3）「食」に関する取組

- ★ 食事の重要性や栄養バランス等についての指導の充実
- ★ 家庭と連携した「おにぎりの日」「お弁当の日」の実施
- ★ 栽培した食物の学校給食への活用
 - ・ 家庭科や学級活動等における栄養士とのT・T授業の実施
- ★ 児童の実態を踏まえた献立の工夫と安全な給食の提供
- ★ 食物を大事にし、食事のマナーを身に付けるための日々の指導と保護者への啓発
- ★□学校園食育だよりの発行やみずほの献立の実施、統一した食育指導の充実

（4）「安全」に関する取組

- ★□事件・事故・災害等の発生要因や防止の仕方についての指導（各教科等・特別活動・学校行事）
- ★□関係機関との連携による交通安全教室や防犯教室、各種避難訓練の実施
- ★□定期的な避難訓練：地震・火災、洪水、竜巻、不審者対応
- ★□定期的な避難訓練の他に、児童の判断力を養う状況での臨時の訓練の実施
- ★□デジタル機器の安全な使い方に関する指導と保護者への啓発
 - ・ 登校班ごとの「こども110番の家」訪問
 - ・ 通学路の危険箇所確認と保護者への啓発